



消防大学校だより

■ 新任消防長・学校長科(第14・15期)

消防大学校では、新任消防長・学校長科第14期（平成25年4月16日から26日）及び第15期（平成25年5月14日から24日）を、それぞれ11日間の日程で実施し、今年度においては、計55名（第14期：16名、第15期：39名）の新任消防長・学校長が研修に臨みました。

当課程は、「一般行政職から消防長や学校長に任命された方」を対象に、消防組織の「長」として必要な知識及び技術を習得させることを目的としております。

研修では、消防庁長官をはじめ、消防庁幹部による最新の消防行政の動向に関する講義、全国消防長会会長による消防長としての役割を主題とした講話、各人が抱える課題についての討議、訓練礼式、そしてメディアトレーニング等を通じて、組織のトップとしての職責を認識するとともに、心構えについて学びました。

また、実科訓練では、東京消防庁教育支援隊による大

隊訓練の見学を通じて、大隊長が火災現場で行う指揮と実際に活動する隊員の動きを理解し、その後の指揮シミュレーション訓練では、実際に自分が大隊長となって現場活動を指揮することにより、指揮者の状況判断と命令の難しさや指揮隊の重要性等、現場活動への理解を深めました。

研修を終えた学生からは、「組織の長としての役割、消防行政を取り巻く課題等について認識するとともに、共通の思いを持つ者同士で話し合う機会を持つことができ、これからの職務を全うしていく上での方向性を見出すことができた。」等の意見が寄せられました。

今後は、一般行政部門で培った幹部職員としての経験に加え、消防大学校で学んだ知識・技術を活かし、消防組織の長として、それぞれの地域において消防防災体制の発展に向けた、大いなる活躍が期待されます。



東京消防庁教育支援隊による消防訓練の見学（第14期）



指揮シミュレーション訓練の様子（第15期）

緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース(第9回)

消防大学校では、平成25年4月17日から25日まで、緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース(第9回)を開講しました。本コースには、全国から緊急消防援助隊の指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県隊長又は都道府県隊指揮隊長として活躍が期待される21名が受講し、緊急消防援助隊の指揮者として必要となる知識及び能力の修得に努めました。

本コースでは、平成23年3月に発生した東日本大震災において活動された講師の他、災害を多方面から解説していただく講師を招聘し災害全般を学び、考えることができる内容のカリキュラム編成としました。

また、消防応援活動調整本部、被災地災害対策本部等の運営要領についてのシミュレーション訓練を実施し、学生が被災都道府県の調整本部員又は指揮支援部隊長等となり、時間経過とともに付与される災害事象の推移、

実態把握、情報収集、整理・分析及び伝達等の検証も行いました。

研修後の感想では、「専門の講師の方々から学ぶことが出来た。」「緊急消防援助隊として出動する際の不安を払拭できた。」「指揮能力が向上できた。」などのほか、シミュレーション訓練については「実践に沿っており、大いに参考となった。」「実践に即したものであり、大変有意義であった。」などの感想が寄せられました。

すべての学生が、緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等としていつ出動要請があってもおかしくないという緊張感を持って真剣に授業に臨み、短い期間ではありましたが内容の濃い有意義な講習となりました。大規模災害が発生し緊急消防援助隊の出動時において今回の研修で培われた成果が大いに発揮されることが期待されます。



消防庁危機管理センターでの座学研修



指揮シミュレーション訓練

問い合わせ先

消防大学校教務部 南部
TEL: 0422-46-1712